甲子園浜

NPO 法人

海浜の自然環境を守る会ニュース

第６９号　2021 年 12 月 15 日

663-8143　西宮市枝川町 19-10　甲子園浜自然環境センター内　甲子園地区埋立事業対策協議会気付

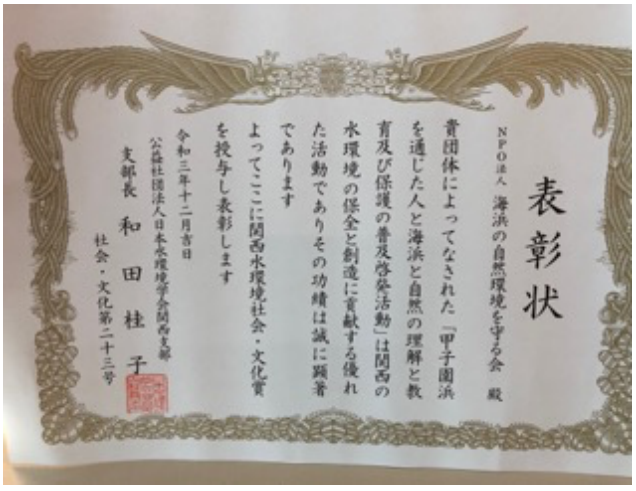
http://www.npo-koshienhama.com/

★★日本水環境学会関西支部「社会・文化賞」受賞★★

（公社）日本水環境学会関西支部第 16 回 社会・文化賞を受賞いたしました。

この学会は、水環境に関連する分野の学術調査や研究、知識の普及、健全な水環境の保全と創造への寄与、学術・文化の発展への貢献を活動目的としています。その一環としての表彰活動で本年 NPO 法人海浜の自然環境を守る会が選ばれました。

「甲子園浜を通じた人と海浜と自然の理解と教育及び保護の普及啓発活動」が認められました。



表彰式は 12 月 3 日（金）オンラインで行われ、前田理事長が出席、受賞者講演を岸川が担当しました。

コロナ感染症拡大のため実施されなかった昨年度の授賞式も同時に行われ、他の受賞者講演も聞くことができました。専門性が高い研究の講演は難しいものでしたが、同じ社会・文化賞を受賞された団体の活動発表は、私たちのこれからの活動への参考になる示唆に富んだお話でした。

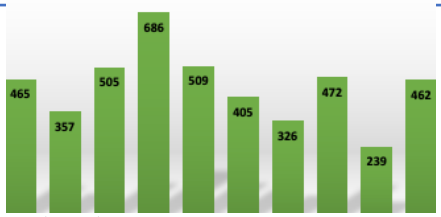
賞をいただいて光栄に思うと同時に、これからも甲子園浜を、守り、学び、伝える活動を続けていく決意を新たにしました。

甲子園浜には応援団がついている

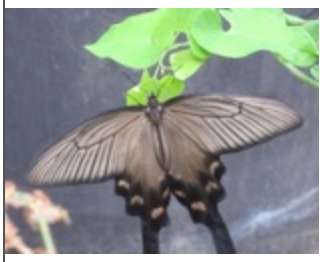
日本水環境学会関西支部 社会・文化賞をいただきました。この賞は応募してではなく、学会員が推薦し審議されて決定されました。

兵庫県西宮市の水辺でウロウロしている私たちを見てくださっていた方がおられて、いささか地球のためになっていると認めてくださったということでしょうか。

いろいろなことをしてきましたが、なかでも海浜清掃。グラフはこの 10 年間の参加人数です。この数字はデータには使えません。年により清掃の回数が違うからです。でも人数は事実。この一人ひとりの方がたが、甲子園浜が好きで、きれいな浜を子供たちに残そうとの思いでつながる応援団です。（岸川）



❤ いいもの見っけ ❤ ジャコウアゲハ



ジャコウアゲハ　雌

10 月 7 日、西宮市立甲子園浜自然環境センターのウマノスズクサにジャコウアゲハが飛来しました。雄の腹部の穴から麝香（じゃこう）のような匂いを出すことからこの名がつきました。雄は艶やかな黒色をしていますが、雌は透けた黒色です。腹部に赤色の斑紋があり体内に毒を持っていると外敵に知らせています。ゆらゆら飛べるのもそのためです。

幼虫はウマノスズクサ類しか食べないので、産卵しているかもと期待して見ると、葉にはたくさんのかじられた穴があり、幼虫を 4 匹見つけました。体には突起がたくさんあり、その先端は赤く毒々しく見えます。

10 月 28 日、幼虫は 56 匹に増えました。サナギになったのも 5 匹確認しました。大きく育った幼虫は、サナギになる場所を求め土の上をトコトコ歩き環境センターの壁を這い上がり 3 階のひさしや窓枠にたどり着いていました。水道場の壁、大きな石の裏側でもサナギになっています。

幼虫

サナギ

11 月 9 日、9 匹のサナギを確認しましたがウマノスズクサは食べ尽くされ気温が下がり、もう羽化できないでしょう。

来年暖かくなる 5 月までサナギで冬眠に入ります。環境センターに行って冬眠中のサナギを見つけたら、そっと見守ってください。　　向山　裕子

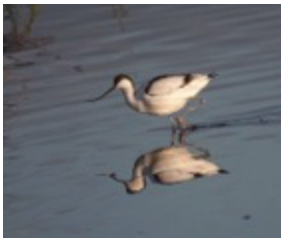
活　動　報　告

9 月 12 日（日）　海浜清掃　61 名
　　可燃ゴミ 130kg、不燃ゴミ 10kg
9 月 25 日　阪神生物学会植生調査　8 名
10 月 7 日　理事会
10 月 14 日　ハマゴウ剪定　12 名
11 月 7 日　クリーンアップ in 甲子園浜　183 名
可燃 100kg、不燃ゴミ 10kg（ヤマサ環境エンジニアリング調べ）

＜野鳥情報＞甲子園浜自然環境センター

クロガモ幼鳥 2 羽来ています

ソリハシセイタカシギ
兵庫で初確認（明石）
杉田義彦氏撮影



ここはどこ？

昭和の１枚の写真

現在の浜の大通り。昭和 35 年に行われた浜甲子園町会運動会。

この道路は、元は阪神電鉄の路面電車が走り、「高砂」「中津浜」の駅があった。太平洋戦争中に廃止されたあとは、海軍の戦闘機を東の飛行場へ誘導するための道路とされた。戦後になっても長い間未舗装の道路として残っていた。